

# 出張報告書

令和元年12月22日

職氏名 市議会議員 濱岡 歳生	用務 地方から考える社会保障フォーラム参加
期間 令和元年11月20日から 令和元年11月21日まで	出張先 、東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル3階 ビジョンセンター東京有楽町

意見・調査事項

地方から考える社会保障フォーラムセミナーが11月20日～21日にかけて開催された。

**講義1** 地域の未来を創る消費生活

伊藤 明子 (消費者庁長官)

**講義2** 患者と家族を地域でどう支えていくか、第3期がん対策基本計画に沿って

江良 武志 (厚生労働省健康局がん・疾病対策課長)

**講義3** 障害者は社会を映す鏡・障害児教育と障害者就労から考える

中島 隆信 (慶應義塾大学商学部教授)

**21日**

**講義1** 地域住民・地方自治体と国民年金

大山 均 (年友企画(株)代表取締役)

**講義2** 誰もが安心できる社会を一新たなセーフティネットを考える

吉田 昌司 (厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長)

**講義1**では消費者庁の伊藤明子長官は、「地域の未来を創る消費生活」と題して講演した。その中で、消費者トラブルの事例等を提示。2018年の消費生活相談件数は101.8万件で、そのうちおよそ25%を架空請求(25.8万件)が占めている。年齢別の相談件数の割合では、65歳以上が39%、15～64歳が60%となっている。伊藤長官は、「一番多いの架空請求だ。注文したことがないけれど『支払わないと訴える』というのがものすごく多い」と説明。主に高齢者が巻き込まれやすい「トラブル」の事例として上げた。対策の一つとして消費者ホットライン「118」を紹介した。さらに単身世帯が増えて身近な家族の存在が希薄になっていることから、コミュニティ・地域の重要性を上げ、消費者庁としても、消費生活センターや警察、福祉関係者などによる「消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)」の設置を進めていることを示した。「孤立している人は狙われやすい。オレオレ詐欺のいわゆるカモリストに載っている」と説明。福祉の支援の対象になっている人は「守られている」ため、被害に遭いにくい。支援対象の手前の「グレー」の人が被害に遭いやすいとして、見守りの必要性を指摘した。悪質業者から消費者庁が押収した顧客名簿などをベースに、トラブルに遭う可能性がある対象者の情報を地域協議会に提供することが可能であることを説明。ただ個人情報保護への留意が必要とした。地域協議会の設置自治体は、1741市町村のうち220自治体、47都道府県のうち15自治体に止まる(10月末までの報告による)。「福祉、防災など既に地域にはネットワークがたくさんある。

コミコミでいい」と述べ、地域協議会は、新規に立ち上げるだけでなく、地域包括支援センターや民生委員などによる既存の福祉のネットワーク等の構成員に消費生活センターや消費者団体等の関係者を追加することで速やかに構築できることを紹介した。

**講義2**では「患者と家族を地域でどう支えていくかー第3期がん対策基本計画に沿って」と題して講演。がんの現状と対策のあゆみを紹介したのち、平成30年3月に閣議決定された「第3期がん対策推進基本計画」に沿った施策などを説明した。がんの現状について、生涯のがんの罹患率は男性で62%、女性では47%となっていることを示し、「日本人の2人に1人が、がんになる」と述べ、「身近な存在。自分の問題」と強調した。

がん治療は長期化することもあり、「治療と仕事を両立できるようにすることが非常に大事。両立支援をしっかりとやっていくことが重要」と強調。「仕事とがん治療の両立お役立ちノート」の活用なども示した。

**講義3**「障害者は社会を映す鏡ー障害児教育と障害者就労から考える」をテーマに講演した。障害児教育の問題で、障害者を対象としたある高校では、企業就労につなげることを目指し、職業教育を重視している現状を紹介。1年生時のトライアル実習では、清掃や物流、事務・情報処理などの5コースになっており、「将来の仕事が決定している」と指摘。実際、卒業生の職種の進路も限られている。入試もあり、こうした就業技術科を目指して塾も存在する。こうしたことから、「一般の子どもと一緒に。教育の目的は何なんだという問題を、障害児教育は問っている」と訴えた。他方、大学にも発達障害・精神障害の学生が急増しており、学力はあるが社会性がなく、就職できないケースがあることを紹介。「療育という事が初等教育で決定的に不足している」と提起した。こうした教育現場での実情について、中島教授は「発想の転換が求められる」と述べた。ゴールを決めた職業教育について、「その人のできることをすくなく制限している。教育は出来ることを増やしていくこと。障害の仕事ありきの職業訓練は教育だと思わない」と批判し「教育は可能性を広げることだ」と訴えた。さらに、大学における問題を踏まえ、「教育と療育をセットで考えるべき」と指摘。現場で効果を上げている実践を紹介し、学力を高めていくことに加えて、早期から社会性を身に付けられるように療育にも取り組む重要性を強調した。

21日は大山 均（年友企画(株)代表取締役）より地域住民・地方自治体と国民年金というテーマで年金の説明があった。

次に吉田 昌司（厚生労働省社会・援護局地域福祉課困窮者自立支援室長）より誰もが安心できる社会をー新たなセーフティネットを考えるとというテーマで説明があった。

第

20回

# 社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

最新政策動向をつかむ/  
セミナー開催のご案内

全国252の議会から延べ1,200人の地方議員の方々にご参加をいただいておりますこのフォーラムも、今回で第20回を迎えます。

社会保障について、政策立案の基本理念やその趣旨や経緯、行政動向などを学ぶ場としてスタートして6年目に入りました。これからも地方からの具体的な声を社会保障の施策に反映させる一助となるフォーラムを続けていければ幸いに存じます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講演予定講師・テーマ

**伊藤 明子氏** 消費者庁長官  
「消費者保護の現在—自治体に期待すること—」

**江浪 武志氏** 厚生労働省健康局 がん・疾病対策課長  
「患者と家族を地域でどう支えていくか—  
第3期がん対策基本計画に沿って—」

**吉田 昌司氏** 厚生労働省社会・援護局地域福祉課  
生活困窮者自立支援室地域共生社会推進室室長  
「誰もが安心できる社会を—  
新たなセーフティーネットを考える—」

**中島 隆信氏** 慶應義塾大学商学部教授  
「障害者は社会を映す鏡—  
障害児教育と障害者就労から考える—」

**大山 均氏** 年友企画(株) 代表取締役  
「地域住民・地方自治体と国民年金」



※第19回「地方から考える「社会保障フォーラム」  
セミナーの様子

**日時** 2019年11月20日(水)、21日(木)

**参加費** 11月13日(水)までに27,500円(消費税込み)をお振込みください

**会場** (貸会議室)ビジョンセンター東京有楽町 〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル3階

<主催>

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 児谷ビル3F 社保研ティラーレ内

<協力>

(株)社会保険研究所 / 年友企画(株) / (株)社会保険出版社 / (株)フィスメック

定員

100名

定員になり次第  
締切

TEL 03-3253-0570 / FAX 03-3527-1028

# PROGRAM 第20回 地方から考える「社会保障フォーラム」

11/20(水)

1日目

- 12:00~ 受付開始
- 12:30~ 開講の挨拶、オリエンテーション
- 12:45~13:45 **講義1**「地域住民・地方自治体と国民年金」  
大山 均氏 年友企画(株) 代表取締役
- 13:45~13:55 休憩(10分間)
- 13:55~14:15 **講義2**「医師の偏在対策と働き方改革、地域医療構想」  
(株) 社会保険研究所 常務取締役 谷野 浩太郎氏
- 14:15~14:25 休憩(10分間)
- 14:25~15:25 **講義2**「患者と家族を地域でどう支えていくか — 第3期がん対策基本計画に沿って」  
江浪 武志氏 厚生労働省健康局 がん・疾病対策課長
- 15:25~15:55 討議(30分間)
- 15:55~16:05 休憩(10分間)
- 16:05~17:05 **講義3**「障害者は社会を映す鏡 — 障害児教育と障害者就労から考える」  
中島 隆信氏 慶應義塾大学商学部教授
- 17:05~17:35 討議(30分間)
- 17:35~ 情報交換会 ※講師のご参加者はオリエンテーションにて告知します。
- 18:30 終了

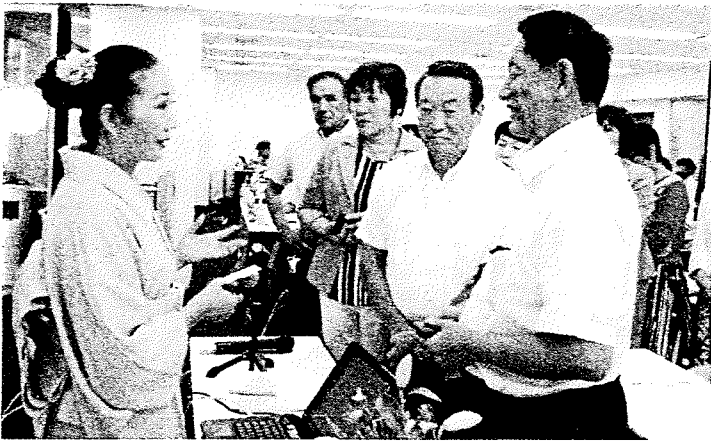
11/21(木)

2日目

- 9:30~ 受付開始
- 10:00~11:00 **講義1**「消費者保護の現在 — 自治体に期待すること」  
伊藤 明子氏 消費者庁長官
- 11:00~11:30 討議(30分間)
- 11:30~12:30 昼休み(60分間)  
※12:20~12:30 (株) 社会保険出版社 太田 真吾氏「地方自治体における地域包括ケアシステムの取組例」
- 12:30~12:50 **講義2**「アンガーマネジメント — いま、求められている怒りのコントロール」  
(株) フィスメック 白崎 哲史氏
- 12:50~13:00 休憩(10分間)
- 13:00~14:00 **講義2**「誰もが安心できる社会を — 新たなセーフティーネットを考える」  
吉田 昌司氏 厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室地域共生社会推進室室長
- 14:00~14:30 討議(30分間)
- 14:30~ 終了の挨拶 次回開催のお知らせ
- 14:35 終了

※ 講師・テーマは予告なく変更されることもありますので予めご了承ください。※ 昼食は各自でお取りください。

第19回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子



サンデー毎日好評連載中！

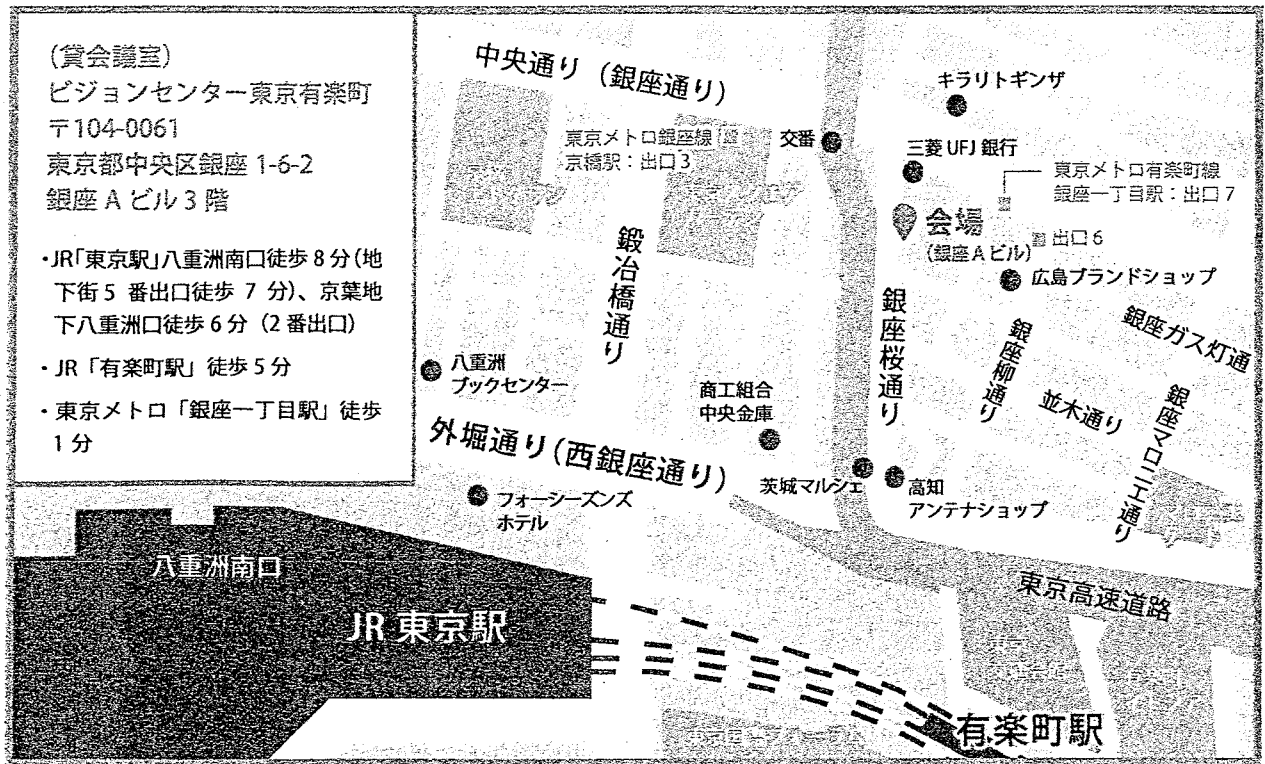
## プロがこっそり教える 読んでトクする社会保障

毎週火曜日発売

週刊誌としては日本で最も古い歴史を持つ『サンデー毎日』に、社会保障に関する最新情報を読者にお届けすべく、私共のフォーラムの運営に協力していただいている専門家が交代で執筆しています(2018.10.28号から)。地方議員の皆様も地域から全国に発信しませんか？

執筆のお問い合わせは事務局までお願いいたします。

会場案内図



(貸会議室)  
ビジョンセンター東京有楽町  
〒104-0061  
東京都中央区銀座 1-6-2  
銀座 A ビル 3 階

- ・JR「東京駅」八重洲南口徒歩 8 分(地下街 5 番出口徒歩 7 分)、京葉地下八重洲口徒歩 6 分 (2 番出口)
- ・JR「有楽町駅」徒歩 5 分
- ・東京メトロ「銀座一丁目駅」徒歩 1 分

後援

社会保険旬報 91

社会保険旬報 — 医療に関わる全ての情報を提供 —

Web 版  
無料会員登録集中です!

社会保険旬報 91

- ・医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
- ・介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。
- ・社会保障フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討議」の概要を掲載。

Web 医療と介護

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/>

SINCE 1973

年金時代

<https://info.shaho.co.jp/nenkin/>

見本誌をご希望の方、購読のお申込みをしたい方は (株) 社会保険研究所までご連絡ください。  
TEL : 03-3252-7901 (代)

第20回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書

お名前	ふりがな	所属議会
ご住所	〒□□□-□□□□	電話番号
		FAX
		Eメールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様へのご案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お問い合わせ FAX 03-3527-1028 または  
Email [tirare@abelia.ocn.ne.jp](mailto:tirare@abelia.ocn.ne.jp) でお申し込みください。

- お申し込みをいただいた方には事務局から受付完了のメール(アドレス記載のない場合は FAXにて)をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご一報ください。
- 事務局からメールが届きましたら、右記の口座へ参加費をお振込みください。

【振込先】三菱UFJ銀行 神保町支店  
【口座番号】(普) [REDACTED]

お問い合わせ TEL 03-3253-0570 不明な点は、左記までお問い合わせください。